

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	みのり		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日 ~ 2025年 2月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日 ~ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画作成時やモニタリング時だけでなく必要に応じ、その都度ひとり、ひとりに必要な支援を他機関との連携を取りながら、保護者も含め一緒に考え取り組んでいること。	学校送迎時には学校での様子を確認し、気になる姿があれば表面的に判断せず、家庭や学校にも連絡し、なぜそのような姿が見られるのか考えながら支援に繋げている。	子どもの姿を偏った見方や一面的な見方にならないよう配慮しながら、ひとり、ひとりの児童が安心して穏やかに過ごすことができるよう努める。
2	一つの活動でもひとり、ひとりに合った狙いを持ち個別に支援を行っていること。	学校や家庭での姿を受け、負担にならないように活動に取り組めるようにしたり、同じ活動でもねらいに応じグループを分け少人数で取り組めるようにしたりしている。	活動のねらいはひとり、ひとり違うので、ねらいを明確にしながら、評価し次の活動に繋げていけるようにする。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	毎日の連絡ノートに避難訓練など記載し知らせたりホームページに載せていることを知らせたりしているがなかなか周知できていない。	ホームページは開けるのに簡単にはいかないので、みてもらいにくい。また口頭で避難訓練の様子など伝えればよいが他に伝えなければならないことがあるとそちらを優先してしまい、伝わりにくい。	インスタなど保護者が見やすいSNSを利用したりして周知していく。またホームページを定期的に更新していく。
2	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や保護者会等の開催など家族支援に対する取り組みが十分でない。	他機関での研修等情報収集ができていなかったり、事業所として何ができるのかの検討が不十分であった。	年度初めに年間行事として位置づけていけるものを検討し取り組んでいく。
3			